

(1)平成23年度 研究主題(3年次の1年目)

自分の思いや考えを深める子どもをめざして  
～「書く」活動を取り入れた指導の工夫を通して～

(2)研究主題設定の理由

本校では、これまで「聞く・話す・伝え合う・書く」を意識した授業実践を通して、子どもたちの「伝え合う力」に焦点をあてて研究を行ってきた。その結果、話し合いで解決法を見つけたり、根拠を明らかにして説明したりする子どもの変容が見られた。しかし、話すことについては子どもたちの自己達成感が低い傾向や多様な考えを持たせる指導の手立てが十分ではないという課題が残された。

そこで、「書く」ことによって自分と対話しながら思いや考えを深め、学ぶ子どもの育成を図りたいと考える。今年度は、1年次として基礎的な「書く」力を養うために国語科の授業実践をもとに、日常生活全般にわたって書く場面を取り入れて指導していきたい。

(3)研究のねらい

自分の思いや考えを深める子どもを育てるためには、「書く」活動を取り入れた指導の工夫をすることが効果的であることを、授業実践を通して明らかにする。

(4)研究仮説

『ねらいで明確にした「書く」活動を国語の授業を中心として効果的に取り入れて継続することで、自分の思いや考えを深めて表現しようとする子どもを育成することができる。』

(5)研究内容

- ア 「書く」ことを効果的に取り入れた授業の工夫
- ①国語科において書くことの基礎・基本を押さえた指導の工夫
  - ②思いや考えを書き表すことができる学習活動場面の設定
- イ 学年の発達段階に即した学習ガイドの育成
- ①「わたり・ずらし」などのガイド指導の研究・間接指導時の交流
- ウ 言語環境の整備
- ①家庭学習等の基礎的学習習慣の確立
  - ②ノート指導のあり方
- エ 表現活動を伸ばし、認める場の活用と日常化

【平成22年度の授業の様子】



学校飼育動物ふれあい指導



参観日の様子



校内研究授業：要請訪問



外国語活動



情報教育